認定こども園だいしん　自己評価

令和8年2月

A：かなりできている　B：ほぼできている　C：一部検討を要する　D：改善を要する

1. 教育・保育理念・保育観

	内　　容	評価	改善するために
1	保育教諭一人ひとりが「認定こども園だいしん」(以下、園と表記する)の保育理念・保育方針を理解しているか	A	
2	園の保育方針を理解して、保育計画が立てられているか	A	
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っているか	A	グループでは出来ている。そこからみんなで共有していく。
4	一人ひとりの主体性を大切にした保育をしているか	A	
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感しているか	A	
6	園児の国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育て、固定的な意識を植え付けないようにしているか	A	
7	幼児教育を行う施設として共有すべき事項、「育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を理解しているか	A	理解しているが、そのことが保育記録や保護者向け発信に関連付けていく

2. 保育計画・指導計画

	内　　容	評価	改善するために
1	保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育課程や保育計画を立てているか	B	毎年、職員で話し合い再確認していく
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案を立てているか	A	
3	3歳児未満児は、現在の姿を理解し、見通しを持って一人ひとりに応じた保育計画を立てているか	A	
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てているか	B	障害児にかかわらず、月案の配慮事項を書くようにする

3. 保育内容について

	内　　容	評価	改善するために
1	子どもに分かりやすい温かい言葉づかいで穏やかに話しているか	A	
2	子どもの名前は、呼び捨てにせず「ちゃん」「くん」で呼んでいるか	A	
3	「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使っていないか	A	
4	子どもの目線に立ち、気持ちや思いを大切に対応しているか	A	
5	一人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった保育に努めているか	A	
6	身近な自然や地域、社会と関われるような取り組みをしているか	B	地域とのかかわりを意識する
7	子どもが意欲的に取り組める環境を用意したり言葉をかけているか	A	
8	遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮しているか(社会的ルール・遊びのルール・当番活動・異年齢交流など)	A	

4. 安全管理

	内　　容	評価	改善するために
1	事故予防･感染症･避難訓練･自然災害等に対応できるマニュアルがあり、訓練や園内研修の中で活用しているか	A	
2	安全点検(園内･保育室･遊具･ﾋｱﾘﾊｯﾄ)を実施し、会議を通して結果や改善点を職員が共有しているか	A	
3	緊急連絡カードの作成･一斉メールの登録･関係機関との連携体制を表示するなど緊急事態発生時への取り組みを行っているか	A	

5. 食育

	内　　容	評価	改善するために
1	子どもが落ち着いて食事を楽しめるような工夫をしているか	A	
2	アレルギー疾患をもつ子の状況に応じて適切な対応を行っているか	A	
3	給食室･保育教諭等が意見交換し連携して食育活動をしているか	A	

6. 職員の役割分担、研修（資質向上への取り組み）

	内　　容	評価	改善するために
1	役割が明確であり職員間の｢報告･連絡･相談｣の体制が整っているか	A	
2	各種文書や個人情報(パソコン･USB）を適切に管理し、守秘義務の厳守、個人情報の取り扱いについて周知徹底しているか	A	
3	キャリアアップ・その他の研修に参加できる勤務体制を作り、職員に適切な研修機会を確保しているか	A	
4	保育研究に継続的に取り組み、研修内容は職員に還元しているか	A	
5	園内研修や自己評価を定期的に行い、資質向上に努めているか	A	

7. 保護者支援、子育て支援（地域・社会との連携）

	内　　容	評価	改善するために
1	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしているか	A	
2	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解しているか	A	
3	認定こども園として子育て支援が必須であることを理解している	A	
4	地域で子育てしている親子の交流の場となるように努めているか	A	
5	中高生の保育体験･実習･ボランティアの受け入れに当たり、意義や方針を理解しているか	A	

8. 小学校との連携

	内　　容	評価	改善するために
1	定期的に小学校と交流を行っているか	A	